

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

1 評価機関

名 称	ナルク千葉福祉調査センター
所在地	千葉県茂原市茂原480
評価実施期間	平成19年9月1日～平成20年2月25日

2 評価対象事業者

名 称	市川市立塩焼第二保育園	種別： 保育所
代表者氏名	鶴岡 恵美子	定員（利用者人数）： 128名
所在地	市川市塩焼3-11-15	TEL 047-395-5176

3 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

<p>特に評価の高い点</p> <p>建物は古いものの堅牢で手入れも行き届いています。隣接地が公園で住居も少なく保育園として恵まれた環境にあります。玄関、事務室、掲示板、調理室、保育室など配置も良く、保護者と送迎の際に交流しやすいことや、職員の明るさなどが保護者アンケートの回収率が71%と高く、現状への肯定的な回答が、90%を超える高い評価につながっています。明るく開放的な施設で、隣接の公園なども活用して子どもたちが伸び伸びと育てられています。保育参加や個別面談、連絡帳、園だより、掲示物などで保護者への子育て支援や情報の提供が十分図られています。職員も意欲的に取り組みチームワークの良さが伝わってきました。</p> <p>特に改善を求められる点</p> <p>市立の保育園であり、基本的なマニュアルは整備・活用されていますが、よりキメの細かいサービスが実現できるよう、配膳や食事の介助支援、望ましい生活習慣への援助、生活の場にふさわしい雰囲気づくりなどへの取り組みが望まれます。職員全員が同質のサービスを提供できるところまでレベルアップすることで、さらなるサービスの質の向上が期待できます。</p>
--

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント（受審事業者の意見）

<p>第三者評価を受けるにあたり、調査票の項目に沿って、全職員での自己評価から始めました。日々の保育を振り返り、共通認識をして行く良い時間となり、園長会作成の多種のマニュアルの再度の見直しで、十分でない部分の確認もできました。保護者対象のアンケートのまとめからは、今後の課題が明確になりました。ヒアリングは全職員が受けたことで、各々が評価を受けたという実感が持てました。評価結果は、園の良さや頑張りを認めて頂き、その上での努力、改善の提示で、ステップアップしていく意欲に繋がっています。</p>

5 事業者の特徴（受審事業者の意見）

<p>都心への交通の便も良く、隣接には広い公園がある静かな住宅街に位置し、近隣の理解も深く恵まれた環境です。</p> <p>採光の良い割合に広い保育室と、日当たりの良い園庭と隣接の公園の利用で、子ども達は伸び伸びと生活しています。</p> <p>今後はさらに、地域との連携を深め、公立園の良さを伸ばし、頼れる子育てのリーダーを目指します。</p>

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

6 分野別特記事項

【施設共通項目】

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
福祉サービスの基本方針と組織	市川市の基本方針に基づいて、園の保育理念として「子どもの人権や主体性を尊重しながら、深い愛情を持って接し、豊かな人間性あふれる子どもの育成を図る」に基づいて、園の目標「・乳幼児の心や体の健全育成をする・保護者の就労や子育ての支援をする・地域の中で子育ての核となるよう努める」を掲げて運営されています。市との役割分担も明確になっていて、職員会議、朝夕のミーティングなどを通じて施設の方針、事業計画なども現場に十分浸透しています。保育園としての恵まれた環境を生かして安全対策など適切に設備投資を行えば、よりレベルの高い施設になることが期待できます。
組織の運営管理	・職員はその役割を十分認識して意欲的に取り組んでいます。全体の雰囲気も明るく、コミュニケーションの良さも伺えます。保護者との信頼関係の良さは保護者アンケートで明らかです。研修の機会是与えられ、その成果の共有化の努力は認められますが、さらに人材育成に意欲的に取り組むことで、園の良さを継承していくことが望めます。そのために管理者のリーダーシップの発揮を期待します。 ・地域との関係も良好です。地域の福祉活動の核として大きな役割を担うことを期待します。
適切な福祉サービスの実施	・個人情報の取り扱い・プライバシーの保護・苦情解決等は市川市のマニュアルを活用し利用者へのサービスが図られています。また市の養成に基づく一時保育の受け入れ等に臨機に依拠しています。第三者評価の受審にあたり、保育所の自己評価を全職員で行うなどサービスの質の確保に向けて意欲的です。今回の自己評価で気づいたことや、疑問などを話し合うことで、さらなる改善が期待されます。 ・日常の業務遂行の手順を現場レベルでマニュアル、点検簿等で確認することにより、保育サービスのさらなる質の向上が期待されます。

【施設共通項目】

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
サービスの内容	・職員が保護者と共に子育てをしていこうという姿勢がみられ、前向きに取り組んでいます。子育て支援や情報の提供に工夫のあとが見られます。・市立保育園であり、基本的なマニュアルは整備・活用されていますが、さらにキメ細かく対応するために現場でのマニュアル作成（食事介助、生活援助、乳児保育など）や生活の場にふさわしい環境づくり（花などの装飾、布団の敷き方など）等への取り組みが望めます。・各クラス担当で行われる日々の話し合いの場を業務遂行の反省の場と位置づけて、全員が同質のサービスを提供できるよう不断の努力を期待します。

福祉サービス第三者評価共通項目（施設系）の評価結果					評価結果	
大項目	中項目	小項目	項目		評価結果	
福祉サービスの基本方針と組織	1 理念・基本方針	(1) 理念・基本方針の確立	1	理念が明文化されている。	A	
			2	理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	
		(2) 理念・基本方針の周知	3	理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	A	
			4	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	A	
	2 計画の策定	(1) 中・長期的なビジョンの明確化	5	中・長期計画を踏まえた事業計画が作成されている。	A	
			6	事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	A	
		(3) 計画の適正な策定	7	施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	A	
	3 管理者の責任とリーダーシップ	(1) 管理者のリーダーシップ	8	質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している。	B	
			9	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	
組織の運営管理	1 経営状況の把握	(1) 経営環境の変化等への対応	10	事業経営を取り巻く環境が的確に把握されている。	A	
			11	経営状況を分析して、改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	A	
	2 人材の確保・養成	(1) 人事管理体制の整備	12	施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。	A	
			13	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的にやっている。	A	
			14	職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	A	
		(2) 職員の就業への配慮	15	事業所の就業関係の改善課題について、スタッフ（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	A	
			16	福利厚生に積極的に取り組んでいる。	A	
			(3) 職員の質の向上への体制整備	17	職員の教育・研修に関する基本方針が明示されている。	A
	18	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		A		
	19	実習生の育成について、積極的な取り組みを行っている。		A		
	3 安全管理	(1) 利用者の安全確保	20	緊急時（事故、災害、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	
			21	利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。	A	
	4 地域との交流と連携	(1) 地域との適切な関係	22	地域との交流・連携を図っている。	A	
			23	利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用している。	A	
			24	事業所が有する機能を地域に還元している。	A	
			25	関係機関等との連携が適切に行なわれている。	A	
		(2) 地域福祉の向上	26	地域の福祉ニーズを把握している。	A	
			27	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	A	
			28	施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている。	A	
	適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の福祉サービス	(1) 利用者尊重の明示	29	プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で行っている。	A
30				利用者満足の上を意図した仕組みを整備している。	A	
(2) 利用者満足の上			31	利用者満足の上に向けた取り組みを行っている。	A	
			32	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	A	
			33	寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	A	
			34	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	
2 サービスの質の確保		(1) サービスの質の向上への取り組み	35	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A	
			36	課題発見のための組織的な取り組みをしている。	A	
			37	常に改善すべき課題に取り組んでいる。	A	
		(2) サービスの標準化	38	職員の対応について、マニュアル等を作成している。	A	
			39	日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	B	
			(3) 実施サービスの記録	40	利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	A
				41	利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	A
3 サービスの開始・継続	(1) サービス提供の適切な開始	42	施設利用に関する問合せや見学に対応している。	A		
		43	サービスの開始に当たり、利用者等に説明し、同意を得ている。	A		
4 サービス実施計画の策定	(1) 利用者へのアセスメント	44	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	A		
		(2) 個別支援計画の策定	45	一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	A	
	(3) 情報の管理		46	個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	A	
		47	個人情報保護に関する規定を公表している。	A		

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 市川市立塩焼第二保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
福祉サービスの基本方針と組織			
- 1 理念・基本方針			
- 1 - (1) 理念、基本方針が確立されている。			
- 1 - (1) - 理念が明文化されている。	1	A	市の保育課作成の理念があり、園独自のものと共にご案内で文書化しています。園内にも掲示しホームページでも紹介されています。
- 1 - (1) - 理念に基づく基本方針が明文化されている。	2	A	市の方針「子どもの人権や主体性を尊重しながら、深い愛情を持って接し豊かな人間性あふれる子どもの育成を図る」を基に園として「・乳幼児の心や体の健全な育成をする・保護者の就労や子育ての支援をする・地域の中で子育ての核となるよう努める」に明文化されています。
- 1 - (2) 理念、基本方針が周知されている。			
- 1 - (2) - 理念や基本方針が職員に周知されている。	3	A	年初の職員会議で周知し、異動のスタッフのためにプリントも用意するなど職員への周知が図られています。
- 1 - (2) - 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	4	A	入園時の説明会、保護者会(全体会、4月)で必ずふれ、園長挨拶にも入れています。保護者アンケートでみるかぎり十分とはいえませんが、さらに継続的な取り組みが必要でしょう。
- 2 計画の策定			
- 2 - (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
- 2 - (1) - 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	5	A	市作成の「子どもウエルビーイング、市川エンゼルプラン」など長期計画をふまえて具体化されています。
- 2 - (2) 重要課題の明確化			
- 2 - (2) - 事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	6	A	市の保育課から対応すべき事業が園長会に示され検討されます。その内容は会議、ミーティングで職員に伝えられています。
- 2 - (3) 計画が適切に策定されている。			
- 2 - (3) - 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	7	A	園長会の討議内容は現場の声を反映できるよう、会議(夕方、月に1-2回)朝、夕のミーティングで周知検討しています。

評価基準		評点	コメント
- 3 管理者の責任とリーダーシップ			
- 3 - (1) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
- 3 - (1) - 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	8	B	福祉サービスの質の向上には意識的に取り組む必要があります。 現場の意見、地域のニーズ等を十分に汲み上げて、組織的、継続的に業務改善、人材育成を進めるために、管理者のリーダーシップを期待します。
- 3 - (1) - 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	9	A	市の労働安全委員会の巡回指導が行われていますが、特に園内のプロジェクトで業務の効率化や改善のために具体的に取り組む必要があります。 会議やミーティングで改善計画の話し合いが行われていますので、そうした場を活用して積極的にすすめてください。
組織の運営管理			
- 1 経営状況の把握			
- 1 - (1) 経営環境の変化等への対応			
- 1 - (1) - 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	10	A	情報は市の保育課で整備され、他機関とも十分連携が図られています。 園としての努力も認められます。
- 1 - (1) - 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	11	A	待機児童の解消や緊急に保育を必要とする児童の受け入れなど市の要請に最大限の努力をしています。 現場では、臨機応変の対応が図られています。
- 2 人材の確保・養成			
- 2 - (1) 人事管理の体制が整備されている。			
- 3 - (1) - 施設の全職員が守るべき倫理を明文化している	12	A	市作成の「市川市職員倫理規則」や保育課作成の「職員の心構え」で明示し現場に周知しています。
- 2 - (1) - 人事方針を策定し、これに基づく職員採用、人材育成を計画的・組織的にやっている。	13	A	市(職員課など)で実施され、現場の意向は園長が把握し対応しています。
- 2 - (1) - 職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	14	A	市の職員勤務評定実施要項に基づいて実施され、市の評価のフィードバック面接は園長が行い、職員に対する説明責任は果たされています。
- 2 - (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
- 2 - (2) - 事業所の改善課題について、スタッフ(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	15	A	毎月の就業データは市へ提出するとともに現場で管理しています。 効率よく無駄のないよう心がけ、ミーティングの場で調整しています。
- 2 - (2) - 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	16	A	市川市互助会、市川市職員組合等で実施するものを利用します。 リフレッシュ休暇は園内で調整し、取得されています。

評価基準		評点	コメント
- 2 - (3) 職員の質の向上への体制整備			
- 2 - (3) - 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	17	A	市の園長会で作成される年間研修計画には、現場の職員の希望テーマ、講師の希望が反映されています。園長会の内容は会議等で職員に周知されています。資格取得の支援に積極的です。
- 2 - (3) - 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	18	A	研修受講後は報告書を作成し職員会議等で報告し、資料は回覧し保育に反映しています。人材育成主催の主旨研修では、3ヶ月後の進捗状況のアドバイスを行っています。
- 2 - (3) - 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	19	A	市の保育課作成の「実習生受け入れマニュアル」に基づいて学生の育成に努めています。今年度は3名受け入れました。
- 3 安全管理			
- 3 - (1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。			
- 3 - (1) - 緊急時(事故、災害、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	20	A	市の保育課作成の「非常災害対応マニュアル」「震災対応マニュアル」「危機管理マニュアル」看護師部会作成の「感染症マニュアル」等各種マニュアルがあり、各保育室に保管し活用されています。園の自衛消防組織もあります。AEDは子ども用が配備され全職員が訓練を受けています。
- 3 - (1) - 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	21	A	毎月避難訓練(火災、地震、不審者想定)、安全点検を実施しています。近隣で事故があった場合は必ずミーティングで知らせています。「保育園の危機管理について」は研修受講した主任から職員会議で報告を受けました。
- 4 地域との交流と連携			
- 4 - (1) 地域との関係が適切に確保されている。			
- 4 - (1) - 地域との交流・連携を図っている。	22	A	地域交流「大きな一れ」は年9回実施し、小中学校との体験学習での交流など事業計画に基づいて地域との交流連携が図られています。隣接の公園の清掃など職員によるボランティアも行われ、地域からの苦情は駐車問題を除けばほとんどなく関係は良好です。
- 4 - (1) - 利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用することを支援している。	23	A	バス遠足や近隣公園への園外保育が年間計画に基づいて実施されています。
- 4 - (1) - 事業所が有する機能を地域に還元している。	24	A	資源ゴミの提供など自治会への協力、職員による公園の整備・トイレ清掃など地域交流、支援事業を継続しています。
- 4 - (1) - 関係機関との連携を図っている。	25	A	自治会長(民生委員も兼任)との良好な関係を軸に児童相談所、発達支援センター、保健センターとの連携が図られています。児童相談所での個別支援会議に参加し、臨床心理士による巡回指導も受けています。

評価基準		評点	コメント
- 4 - (2) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			
- 4 - (2) - 地域の福祉ニーズを把握している。	26	A	ファミリーサポート会議には各園のチフ主任が交代で参加し結果を報告しています。自治会、民生委員との連携が十分取れています。 地域の福祉ニーズの把握に、更に努めて対応することが必要でしょう。
- 4 - (2) - 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	27	A	市の発達支援課の「おひさまキッズ」「あおぞらキッズ」に通所している子どもと保護者の希望で、月1回程度交流を実施しています。

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 市川市立塩焼第二保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
適切な福祉サービスの実施			
- 1 利用者本位の福祉サービス			
- 1 - (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
- 1 - (1) - 施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	28	A	市の保育課作成の「個人情報取り扱いマニュアル」で研修が行われ職員に周知しています。
- 1 - (1) - プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で図っている。	29	A	マニュアルは全員に配布し、パート職員を含めて研修を実施し、職員会議でも話し合うなど周知徹底を図っています。
- 1 - (2) 利用者満足の向上に務めている。			
- 1 - (2) - 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	30	A	日ごろから保護者とのコミュニケーションに努め、保護者アンケートにみられるように良好です。保護者会、クラス別懇談会、保育参加、個人面談など直接話し合う機会も多く用意されています。更に努力を続けることが期待されます。
- 1 - (2) - 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	31	A	試食会、運動会などの後にアンケートを実施して集約し報告はプリントで知らせています。改善できるところは改善し、出来ないところは理解を求める努力をしています。
- 1 - (3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
- 1 - (3) - 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	32	A	市の実施する「福祉サービス苦情解決事業」を活用し園内にポスターを掲示し周知しています。保護者会の全体会議を活用し、苦情や意見を求めています。また、日常的に保護者が事務室に相談に入りやすいよう開放しています。
- 1 - (3) - 寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	33	A	苦情には園で対応できるものは速やかに対応しています。全体的な問題は保育課に提起しています。
- 1 - (3) - 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	34	A	苦情処理は日常的に努力していることが認められます。今後さらに小さな相談にもフィードバックするよう心がけてください。
- 2 サービスの質の確保			
- 2 - (1) 質の向上に向けた組織的な取り組みが組織的に行われている。			
- 2 - (1) - サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	35	A	今回の第三者評価の自己評価を全職員で行うなど組織的に努力しています。今回の経験を生かして第三者の評価のない年にも自己評価を行う等の継続的な取り組みが期待されます。
- 2 - (1) - 課題発見のための組織的な取り組みをしている。	36	A	園長会のフォローアップ、園内の研修プロジェクト等を通じて、職員間で今後の課題の共有化がはかられ、レベルアップにつなげることが期待されます。
- 2 - (1) - 常に改善すべき課題に取り組んでいる。	37	A	職員会議で課題を確認し、改善策について話し合っています。改善された事例が日常活動で生かされています。

評価基準		評点	コメント
- 2 - (2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。			
- 2 - (2) - 職員の対応について、マニュアル等を作成している。	38	A	「職員の心構え」を職員会議で周知し、市の人材育成担当室作成の「接遇マニュアル」を活用しサービスの向上に努力しています。
- 2 - (2) - 日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	39	B	市作成の各種マニュアルの活用は十分されています。今後、現場レベルで職員、保護者等の意見をふまえてよりキメ細かい対応をすることにより、サービスの質のさらなる向上が期待されます。
- 2 - (3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
- 2 - (3) - 利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	40	A	園日誌、保育日誌、連絡帳が十分活用されています。記述も工夫されて、職員の努力の成果が見られます。
- 2 - (3) - 利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	41	A	職員間の風通しも良く延長保育の引継簿の活用、児童票への記入などで情報の共有化が図られています。
- 3 サービスの開始・継続			
- 3 - (1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
- 3 - (1) - 施設利用に関する問合せや見学に対応している。	42	A	公立のため市の対応が中心ですが、園独自のしおりを用意して、できるかぎり希望の日時で見学を受け入れ園内の見学、説明を実施しています。
- 3 - (1) - サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	43	A	入園申し込み時に市の保育課でシステムの説明があり入園が決定した段階で、園の説明会で「入園のしおり」にそって説明しています。
- 4 サービス実施計画の策定			
- 4 - (1) 利用者のアセスメントが行われている。			
- 4 - (1) - 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	44	A	市の指導計画に基づいて保育が行われています。各年齢の発達や必要に応じて個別のカリキュラムが組まれています。
- 4 - (2) 個別支援計画の策定			
- 4 - (2) - 一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	45	A	0歳児および個別支援を要する児童については、個別に計画を策定しています。
- 4 - (2) - 個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	46	A	クラスごとに評価、反省して翌月の活動に生かしています。その内容は職員会議で話し合い周知しています。
- 4 - (3) 情報の管理			
- 4 - (3) - 個人情報保護に関する規程を公表している。	47	A	市の個人情報保護情報セキュリティに基づいて「個人情報取り扱いに関するお願い」のパンフレットを配布しています。事務室では、個人情報にかかわるものは、鍵付のロッカーに保管しています。

福祉サービス第三者評価項目（保育所）の評価結果				評価結果
大項目	中項目	小項目	項目	
保育所	1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	1 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	A
			2 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	A
		(2) 健康管理・食事	3 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	A
			4 健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A
			5 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	A
			6 食事を楽しむことができる工夫をしている。	A
			7 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	A
			8 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	A
			9 アレルギー疾患を持つ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	A
		(3) 保育環境	10 子どもが心地よく過ごすことができる環境を整備している。	A
			11 生活の場に相応しい環境とする取組みを行っている。	A
		(4) 保育内容	12 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	A
			13 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	A
			14 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	A
			15 身近な自然や社会と関われるような取組みがなされている。	A
			16 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	A
			17 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	A
			18 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	A
			19 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	B
			20 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	A
			21 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	A
	2 子育て支援	(1) 入所児童の保護者の育児支援	22 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	A
			23 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A
			24 こどもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	A
			25 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	A
			26 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	A
		(2) 一時保育	27 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	A

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 市川市立塩焼第二保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
保育所			
- 1 子どもの発達援助			
- 1 - (1) 発達援助の基本			
- 1 - (1) - 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	1	A	保育計画は市川市保育課で作成されています。養護と教育の両面から0歳児～6歳児の各年齢を通して一貫性のある計画がされています。
- 1 - (1) - 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	2	A	月に一度職員会議にて、各クラス内での指導計画の反省を基に報告や討議を行い、翌月の指導計画に生かしています。日々の保育の反省はクラス担任が毎日することにより、更に細やかなサービスが期待されます。
- 1 - (2) 健康管理・食事			
- 1 - (2) - 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	3	A	健康マニュアルに基づき健康管理が行われています。既往症や予防接種等の状況について保護者から情報を得て個別的な対応がされています。登園時の子どもの健康把握は、名簿に基づき実施されることが望まれます。
- 1 - (2) - 健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	4	A	内科・歯科・眼科の健康診断の結果は、個人情報であることが配慮され個々の健康カードにて保護者に伝達されています。また、職員にもその結果が伝達され歯磨き指導等に反映されています。
- 1 - (2) - 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	5	A	感染症発生時の手引きに基づき、感染症が発生しやすい時期や発生時にはプリント等で保護者や職員に周知し予防・早期発見に努めています。市から発信される感染症に関する情報は速やかに周知されています。
- 1 - (2) - 食事を楽しむことができる工夫をしている。	6	A	庭やベランダでの食事、クッキングやバイキング形式等食事を楽しむ工夫や、野菜の栽培やとうもろこしの皮むき等食べ物に関心を持つ工夫がされています。日常的には、食事をする部屋としての雰囲気づくりや食べ物に関心を持つ工夫等が望まれます。
- 1 - (2) - 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	7	A	給食職員が巡回し喫食状況の把握に努めています。また、クラス担任からはその都度必要な連絡・報告等もされています。月に一度の職員会議において給食に関する討議がされ、献立に反映されています。
- 1 - (2) - 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	8	A	毎日の給食サンプル展示や献立表・給食ニュースの配布等により発育期にある子どもの食事の重要性を伝え連携されています。懇談会や個別保育参加日におやつや給食の試食があり栄養・味付け・量など保育園給食の様子を分かり易く伝えたり家庭での食生活の参考になるよう努めています。
- 1 - (2) - アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	9	A	アレルギー疾患の子どもについては、医師の診断書の指示に基づき除去食が提供されています。保護者と面談し翌月のメニューについて確認し実施され、除去食が困難な場合は弁当持参としています。なお、誤食の無いよう、食器にラップをして名前を記入するなど配慮されています。

- 1-(3) 保育環境			
- 1-(3) - 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	10	A	毎朝、子どもが園庭を使用する前に砂場の掘り起こしや固定遊具を点検し衛生や安全に配慮しています。月に一度、チェックリストに基づき安全点検を実施し安全確保に努めています。また、保育室やトイレ等は清掃し清潔に心がけています。
- 1-(3) - 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	11	A	保育者が身近にいて子どもが不安になった時に対応できるようにされ、保育者の声の大きさも配慮されています。保育室に花等の自然物があると更に生活の場に相応しいと思われれます。
- 1-(4) 保育内容			
- 1-(4) - 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	12	A	子ども一人ひとりへの接し方は、職員の心得に基づき、子どもの個性や月齢差・気持ち等を汲み取り柔軟に対応するよう考慮されています。
- 1-(4) - 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	13	A	排泄など生活習慣は、できるだけ一人ひとりの状況に応じるよう努めています。さらに望ましい生活習慣援助のため、保育者が共通認識を持って取り組むことが望まれます。
- 1-(4) - 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	14	A	自発的な生活や遊びができるよう職員一同で意識し、玩具や絵本等は子どもが自ら取り出し遊べるように配慮されています。
- 1-(4) - 身近な自然や社会とかがわかれるような取り組みがなされている。	15	A	5歳児が中心に野菜作りやメダカ・ザリガニ等の飼育がされています。子ども達は隣接する公園での活動を通して日常的に地域の方とかがわり、職員は週に1度公園のトイレ掃除をする等地域社会に参加しています。地域交流は園庭開放・コーナー遊び・サロン等が年9回実施されています。園児の祖父母との交流も年1回実施され大変喜ばれています。
- 1-(4) - 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	16	A	異年齢との交流は、朝夕の延長保育時や月に一度の3歳児から5歳児の散歩、4歳児と2歳児及び5歳児と3歳児のおやつ時の交流などが実施されています。保育者は遊びや生活の場面で人間関係が育まれるよう言葉をかけたり援助をしています。
- 1-(4) - 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	17	A	職員は、人権に対するパンフレットに基づき認識の共有化が図られています。保育者は、子どもの気持ちや発言を受け入れ、子供同士はお互いに相手の存在を認め合えるよう配慮して保育しています。トイレ使用時やおむつ交換時は、他の人の目につかぬよう配慮が望まれます。
- 1-(4) - 性差への先入観による固定的な観念や役割分担意識を植え付けないよう配慮している	18	A	職員には、性差に関するパンフレットが配布され周知徹底されています。男女による色分けやグループ分けは見られず相手を認め生活や遊びがされるよう配慮されています。
- 1-(4) - 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	19	B	担当制ではないが、子どもの求めている保育者が対応し、子どもの心情に添うよう心がけています。乳児保育が同一のやり方や共通の認識で進められるように、全体を基準化できるマニュアルの検討・作成が望まれます。

- 1 - (4) - 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	20	A	18時以降の保育を必要とする子どもにはお菓子と麦茶が提供されています。 保育者は、子どもの不安な気持ちを受け止めてゆったり過ごせるように配慮しています。
- 1 - (4) - 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	21	A	障害児担当として保育士が別途に配置されています。 子どもの係わっている専門機関と連携を図り助言や指導などを参考に、個別の指導計画を作成し子どもの特性にあわせ保育を実施しています。 保護者との連絡は細やかにとり相互理解を大切にしています。
- 2 子育て支援			
- 2 - (1) 入所児童の保護者の育児支援			
- 2 - (1) - 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	22	A	日常的な情報交換は0歳児・1歳児は、食事・排泄・睡眠・体温等の生活や遊びの様子を毎日連絡帳を活用し行われています。2歳以上児はノートにて必要に応じ実施されています。その他、クラス毎の保育参観日や保育参加日に合わせ、個別面談を実施するよう配慮されています。 保育参加日に行われる個別面接は、保育参加直後に行われるため、実態を理解しやすく効果的に行われています。
- 2 - (1) - 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	23	A	必要に応じ個人の児童票に記録をして、個人の情報であることが配慮され施錠し保管されています。
- 2 - (1) - 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	24	A	クラス懇談会は4月と2月の年2回実施しています。 保育参加日はクラス毎に期間を設け、保護者が都合の良い日に保育に参加し、子どもの保育園生活や遊びを体験するなど保護者と共に子育てをする共通理解の機会を大切にしています。
- 2 - (1) - 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	25	A	児童の気になる心身の様子や変化はその都度園長へ報告がされています。 児童相談所との連携も図られています。
- 2 - (1) - 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	26	A	職員は日ごろより児童の心身の変化には十分配慮し、必要に応じ児童相談所や保健センターと連携を図り、迅速に対応されています。
- 2 - (2) 一時保育			
- 2 - (2) - 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	27	A	一時保育は実施してないが、緊急ケースにより11月から緊急一時で一名を受け入れています。 職員は保育園の役割を理解し臨機に可能な対応をしています。